

# 地方 紀民 行鉄

## 万葉線株式会社



富山湾越しの  
立山連峰の絶景に、  
人気の「ドラえもんトラム」。  
どちらも確実に楽しむためには、  
運に頼るより下調べが重要。

### 前

日に見た富山県高岡市周辺の天気予報は、曇り時々雨、降水確率40%。「弁当忘れても傘忘れるな」のお土地柄、多少の雨雪は覚悟の上でやってきた高岡市はますますのお天気。

本日の目的は、高岡市から射水市を走る万葉線の終着駅「越ノ潟」に程近い、新湊大橋と富山湾越しに見る立山連峰の絶景。立山連峰は、冬晴れの日にきれいに見られるというから、曇り時々雨の天気予報を前に八割方あきらめていたけれど、これなら少し、期待ができるかもしれない。

### 車窓に見える高岡大仏

JR高岡駅の周辺は現在工事中。建設中の「高岡ステーションビル」が出来上がれば、万葉線はこのビルの中に乗り入れる。3月末の完成後には、JRとの乗り換えも楽になるんだらうなと思いつつ、工事現場をぐるりと回り、万葉線の「高岡駅前電停」へ。待つことしばしやって来たのは、使い込まれた運転席に運賃箱や両替機、非常スイッチや予告ブザーの表示が手書きなのも素朴な「古き良き昭和」といった風情の電車。

ガタゴトとのんびり走り出した電車が緩やかな坂道を横切った瞬間、何気なく窓の外へ向けていた視線の端に、商店や住宅と並んで大仏様の姿がちらり。「えっ」と思ったときには、電車はあっさり通り過ぎ、大仏様は嘘のように掻き消える。高岡市には、奈良や鎌倉と並ぶ、日本三大大仏の一つがある。それは知っていたけれど、てっきり伽藍の奥にいらっ

しやるものだと思っていたのに、どうやらちよつと違つらしい。帰りの電車でもう一度こんどはしっかりと見てみようと思心に決める。

### 「あいの風プロムナード」を全力疾走

「高岡駅前電停」を出発して約40分、終点「越ノ潟」に到着。駅の裏手に回れば新湊大橋はすぐ目の前。

高さ127mの主塔に支えられた新湊大橋は、真下からでは首をぐいっとそらさなければ天辺まで視界に入らない。一昨年開通したこの橋、車が通る部分の下に、人が歩いて渡れる「あいの風プロムナード」が開通したのは昨年6月。海岸沿いに設置されたエレベーターで一気に40m昇れば、空中散歩が楽しめる。

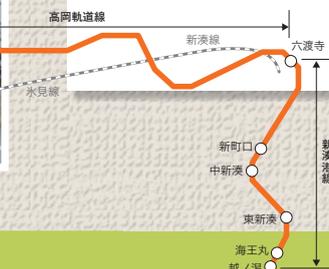
中央部に向けてゆるい坂になっているため端から端までを見通すことはできないけれど、平日の昼間、プロムナードに人の気配はなく、どうやら延長480mを独り占め！ 左右の窓から外を眺めるには、手前の金網が少し邪魔。それでも金網のおかげで、「地上40m、真下は海」の怖さはない。日本海とは思えない穏やかな富山湾を眺めつつ、約10分で反対側に到着。そのまま、ぐるりと引き返したとたん、貨物船の警笛がびっくりするほど間近に響き、余韻を残して消えていく。大きな音が消えた後は、静けさがよけいに際立つ。

「ちよつと寂しいな」と思い始めると、頭上を通る車の音や風の吹き抜ける音、自分の足音さえも気になり始め、だんだん怖いような気もしてくる。自然に足は速くなり、早足、

## 万葉線

### 【まんようせん】

高岡駅前電停から、射水市にある越之潟駅まで、25の電停・駅を約40分で結ぶ。沿線住民の通勤・通学を支える生活路線。



手書きされた「非常スイッチ」の文字が素朴な車内。





人気のドラえもん tram。車内にはキャラクターやひみつ道具のイラストがいっぱい。



独り占めの「あいの風プロムナード」。各所に現在地点を示す表示がされている



真っ白な主塔が聳え立つ新港大橋。

雨の翌日、すっかり晴れた日なんか最高にきれいだね」といふ。おまけに、昨日までは何とか見えていたし、昨日は湾内にイルカの群れが入って来ていたとか。1日違いで、立山連峰もイルカも見られないなんて運が悪いとぼやいたら、イルカはともかく、富山湾越しの立山連峰を確実に見たい、写真を撮りたいという人は、「きちんと天気図を読んで、これっていつ日に来ているみたいだよ」とのこ

駅には戻らず、そのまま歩いて、富山湾を一望できる海王丸パークへ。  
プロムナードを渡っていたときから、薄々気が付いてはいたけれど、立山連峰はやっぱり今日は見えならしい。本来あるべき場所には、薄い雲が広がり、よくよく目を凝らすと山の稜線が見えるような、見えないような。ウォーキング中の地元の方を見つけて、「立山連峰って……」と尋ねると、「ああ今日はダメだね」と、あっさり。「晴れた日には見えてみるって聞いていたんですけど」と食い下がってみると、「晴れが続くと、空気にチリが溜まって、かえって見えなくなってくるんだよ。

駆け足、全力疾走！  
戻り着いたスタート地点で息を切らしている。昇つて来たエレベーターからシャージュ姿の男性が一人。ゼイゼイ喘ぐこちらを怪訝そうに一瞥し、さっさとプロムナードを渡って行く。何だか今度は気恥ずかしくなってきた、急いで地上へ。  
**今日と昨日、1日違いで大違い**

と。絶景を見るには、運より、相応の下調べが必要だったらしい。  
**ドラえもんひみつ道具、覚えてますか？**  
立山連峰とイルカが見られなかった代わり、というわけではないけれど、帰りは絶対に「ドラえもん tram」に乗ることに決める。2012年から運行されている「ドラえもん tram」は、当初1年間の運行予定だったが、人気に答えて、2015年8月まで運行を延長。先日、乗客20万人を突破している。万葉線に乗りに来て、これに乗らないわけにはいかない。  
今度はきちんと万葉線のホームページで運行時間を調べ、ドラえもん tram の、ピンク色のどこでもドアから乗車する。一つの窓にキャラクターが一人。天井にはタケコプターを付けたキャラクターたちが飛び、壁にはドラえもんひみつ道具が描かれ、車内はもうドラえもん一色。  
スマートフォン、タイムふろしき、アンキパン……すぐに思い出せる道具に混じってすっかり忘れてしまった道具もちらほら。あれは、これはと考えていたら、車内から確認する予定だった大仏様を通り過ぎ、あつという間に「高岡駅前電停」に到着してしまつた。  
大仏様を確認するため、もう一度「ドラえもん tram」に乗り直して逆戻り。次はしっかり外を見ていようと思つただけけれど、視線はついつい車内に向かう。そろそろ大仏様が見えてきそう。でも、あの道具、「やまびこやま」が思い出せない。

スモールライト、タイムふろしき、アンキパン……すぐに思い出せる道具に混じってすっかり忘れてしまった道具もちらほら。あれは、これはと考えていたら、車内から確認する予定だった大仏様を通り過ぎ、あつという間に「高岡駅前電停」に到着してしまつた。  
大仏様を確認するため、もう一度「ドラえもん tram」に乗り直して逆戻り。次はしっかり外を見ていようと思つただけけれど、視線はついつい車内に向かう。そろそろ大仏様が見えてきそう。でも、あの道具、「やまびこやま」が思い出せない。

と。絶景を見るには、運より、相応の下調べが必要だったらしい。  
**ドラえもんひみつ道具、覚えてますか？**  
立山連峰とイルカが見られなかった代わり、というわけではないけれど、帰りは絶対に「ドラえもん tram」に乗ることに決める。2012年から運行されている「ドラえもん tram」は、当初1年間の運行予定だったが、人気に答えて、2015年8月まで運行を延長。先日、乗客20万人を突破している。万葉線に乗りに来て、これに乗らないわけにはいかない。  
今度はきちんと万葉線のホームページで運行時間を調べ、ドラえもん tram の、ピンク色のどこでもドアから乗車する。一つの窓にキャラクターが一人。天井にはタケコプターを付けたキャラクターたちが飛び、壁にはドラえもんひみつ道具が描かれ、車内はもうドラえもん一色。



住宅に並び立つ高岡大仏は、目を引く大きさ。



立山連峰は雲の中。天気良ければ、こんな景色が。

